



2019 年 10 月 31 日

沖縄電力株式会社

## 2019 年度 第 2 四半期決算について

### 1. 販売の状況

当第 2 四半期の販売電力量は、電灯・電力とも、新規お客さまによる需要増があったものの、他事業者への契約切り替えによる需要減などにより、前年同期を下回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ 3.6%減の 39 億 66 百万 kWh となりました。

### 2. 収支の状況

当第 2 四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、他社販売電力料や託送収益が増加したことや、連結子会社において、外部向け売上高が増加したことから、売上高（営業収益）は前年同期に比べ 14 億 38 百万円増（1.3%増）の 1,110 億 32 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、燃料費や他社購入電力料が減少したことから、営業費用は前年同期に比べ 17 億 32 百万円減（1.7%減）の 1,022 億 70 百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ 31 億 71 百万円増（56.7%増）の 87 億 62 百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は 33 億 1 百万円増（64.8%増）の 83 億 98 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 25 億 32 百万円増（64.6%増）の 64 億 53 百万円となりました。

なお、当年度の中間配当金については、1 株につき 30 円といたします。

### 3. 連結業績予想

2019 年度通期の連結業績予想について、売上高は、電気事業において、販売電力量の増加による電灯電力料の増加に加え、他社販売電力料や託送収益の増加が見込まれることから、売上高は前回発表（2019 年 7 月 31 日）より 8 億円増（0.4%増）の 2,064 億円を見込んでおります。利益については、電気事業において、修繕費やその他費用の増加はあるものの、燃料費や他社購入電力料の減少などが見込まれることから、営業利益は 10 億円増（12.7%増）の 89 億円、経常利益は 10 億円増（13.9%増）の 82 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 8 億円増（14.5%増）の 63 億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

## 【決算の概要】

## ■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	2018年度 第2四半期累計 (実績)	2019年度 第2四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	1,639	1,610	△29	△1.8%
電 力	2,474	2,356	△118	△4.8%
合 計	4,113	3,966	△147	△3.6%

## ■連結経営成績（2年ぶりの増収増益）

(単位：百万円)

	2018年度 第2四半期累計 (実績)	2019年度 第2四半期累計 (実績)	増減	増減率
売 上 高	109,593	111,032	+1,438	+1.3%
営 業 利 益	5,590	8,762	+3,171	+56.7%
経 常 利 益	5,096	8,398	+3,301	+64.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,921	6,453	+2,532	+64.6%

## ○連結業績予想（2019年度通期）

連結業績予想については、2019年7月31日に公表した予想数値から修正しております。

## ■連結業績予想（対7月公表値）

(単位：百万円)

	2019年度通期 前回発表予想数値 (7月公表)	2019年度通期 今回発表予想数値	増減 (対7月公表)	2018年度 実績
売 上 高	205,600	206,400	+800	205,481
営 業 利 益	7,900	8,900	+1,000	5,443
経 常 利 益	7,200	8,200	+1,000	5,220
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,500	6,300	+800	3,751